

平成 21 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 ラックホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 三柴 元
 (JASDAQ・コード番号：3857)
 問 合 せ 先 取締役 経営戦略室長 岡 良貴
 電 話 03-5537-1400

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 8 月 7 日に公表した連結業績予想および平成 21 年 5 月 14 日に公表した個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 21 年 8 月 7 日発表)	15,970	△184	△312	△471	円 銭 △17.89
今回修正予想 (B)	14,665	△94	△249	△458	円 銭 △17.69
増減額 (B-A)	△1,304	89	62	12	—
増減率	△8.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	11,033	△78	△130	△243	円 銭 △9.25

2. 個別業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)
 (単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 14 日発表)	1,030	270	220	110	円 銭 4.18
今回修正予想 (B)	1,031	279	190	167	円 銭 6.45
増減額 (B-A)	1	9	△29	57	—
増減率	0.1%	3.5%	△13.6%	52.1%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	1,134	543	507	472	円 銭 17.89

3. 業績予想修正の理由

(1) 連結業績予想

売上高は、システムインテグレーションサービス事業およびセキュリティソリューションサービス事業においてはほぼ前回予想どおりとなる見通しですが、ディーラー事業においてHW/SW販売の一部案件で第3四半期以降へ受注遅れが生じたことなどにより、連結売上高は146億65百万円（前回予想比13億4百万円の減少）となる見通しであります。しかしながら、利益面ではシステムインテグレーションサービス事業においてプロジェクト品質管理の強化や、内製化の推進により外注費の抑制や稼働率の向上に注力するなど、売上総利益の確保に努めてまいりました。これに加え、業務の効率化やコスト管理の徹底によりグループ全体で販売費及び一般管理費の低減を図ったことにより、連結営業損失は94百万円（前回予想比89百万円の改善）、連結経常損失は2億49百万円（前回予想比62百万円の改善）、連結四半期純損失は4億58百万円（前回予想比12百万円の改善）となる見通しであります。

(2) 個別業績予想

営業収益、営業利益はほぼ前回予想どおりとなる見通しですが、経常利益は、優先株式発行に向けたデューデリジェンス、およびコミットメントライン契約の1年から3年契約への切り替えなど、下期における計画経費の前倒し発生により、1億90百万円（前回予想比29百万円の減少）となる見通しであります。また、社内システムの一部機能を来期予定しているオフィスの集約に向け更に拡充するため、第2四半期に予定していた新システムへの移行時期を延期したことに伴い、既存システムの除却を第3四半期に変更したことなどにより、四半期純利益は1億67百万円（前回予想比57百万円の増加）となる見通しであります。

なお、第2四半期累計期間における売上高の減少は、第3四半期以降への受注遅れが生じたことなどによるものであり、通期連結業績予想は平成21年8月7日の公表値から、また、通期個別業績予想は平成21年5月14日の公表値から変更ありません。

・業績予想に関する注意事項

当資料に記載する業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があることにご留意ください。

以 上